



岡村やすあき県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

「四街道市民の声に応えた県政改革」



2月県議会で3度目の自民党代表質問に登壇した岡村泰明県議

■四街道市特集■ 2月県議会代表質問

自民党県連政調会長に手腕 生活者の視点で代表質問

県政改革を進める岡村泰明（おかむら・やすあき）県議Ⅱ
四街道市選出・4期目Ⅱは、「四街道市民のための市民の政治」を基本に活躍しています。県議会最大会派の自民党の基幹となる自民党県連政務調査会長（政調会長）に就任、県政をリードする政治手腕を発揮しています。

平成20年度の県予算を審議する2月県議会で3度目の自民党代表質問に登壇しました。県の財源不足の危機的状況について追及した「財政問題」をはじめ、「防災対策」「道路特定財源」「私学助成」「医療体制の充実」「乳幼児医療費助成」など幅広く県側に施策を提言しました。1・2面で特集します。

防災対策 緊急の県立学校の耐震化進む

岡村 昨年実施した県民に対する世論調査によると「災害から県民を守る」が要望の第一位となりました。党において「防災対策」は重要な政策課題で、積極的に実施することが県民の生命を守っていくため必要で県の責任です。

地震被害想定調査結果を、どのような方法で県民に周知していくのか。

副知事（白戸）地震危険度マップや地震被災シナリオを作成して理解を高めるとともに「自助」「共助」による減災行動をとってもらえるよう、県民により、防災教育や訓練、減災フォーラムなどで活用したい。

岡村 調査結果を踏まえ、県は地域防災計画をどのように見直していくのか。

副知事 現在の防災計画は平成8年3月に公表した調査結果を基に作成していますので、新たに倒壊家屋数、人的被害者数などのデータに基づき、予防対策、応急対策、復旧対策を根本的に見直します。

岡村 県立学校の耐震化の状況はどうなっているのか。

道路特定財源 県は暫定税率を「堅持」

岡村 道路特定財源については、昨年から話題性を帯びてきました。本県をみると、県20年度予算案において470億7200万円のうち暫定税率が218億1500万円。市町村は18年度決算額で合計412億円、うち暫定税率分が188億円。大きなウェイトを占めます。「ガソリンが25円安くなる」と矮小化した宣伝をするような内容ではありません。知事としての見解と取り組みについて示していただきたい。

知事 国会において議論されていますが、県内の道路整備は十分と言えず、財源確保は大変重要と考えています。全国知事会などで要望活動をしています。今後とも財源確保へ効果的な活動に努めます。

道路特定財源の暫定税率が延長されない場合には、圏央道や外かん、北千葉道路などの完成が大幅に遅れる恐れがあり、渋滞対策や交通安全対策などの事業の実施にも大変難しい局面が出てきます。

岡村やすあきプロフィール

■経歴

- 昭和19年11月 生まれ
- 昭和38年3月 佐賀高校卒業
- 昭和42年3月 専修大学経済学部卒業
- 昭和51年4月 四街道市(市)議会議員初当選(6期連続当選)
- 平成8年11月 県議会議員初当選
- 平成11年4月 県議会議員再選
- 平成15年4月 県議会議員3選
- 平成19年4月 県議会議員4選
- 県議会土木常任委員長
- 県議会都市水道常任委員長

■現職

- 県議会 総合企画水道常任委員会
- 千葉県 国土利用計画地方審議会
- 自民党県連 政調会長



県政や四街道市のご相談、ご要望をお寄せください

岡村やすあき県議事務所

〒284-0025

四街道市さちが丘1-15-2

TEL/FAX.043(423)0103

県道浜野・四街道・長沼線の小名木地区の歩道の一部拡幅工事が5月頃より始まります。

県民の視点で党の教育、医療、福祉を要望

■四街道市特集■

2月県議会代表質問

私学助成「国水準達成を」

岡村 私立学校は独自性を発揮しながら、新しい時代に対応した特色ある教育を展開するなど本県、教育の発展に大きな役割を果たしています。高校の約3割、幼稚園の約9割の子供が私立学校に通学しているなど私立学校の果たす役割は非常に大きなものになっています。私学の振興を図る私学助成の充実が必要で、新しい教育基本法でも規定されています。

党としては「平成20年度予算編成に対する最重点

要望事項」として私立学校経常費補助の充実の要望を行いました。

12月県議会でも全国並みの助成の達成を主張してきましたが、今回も私学助成で小学校・中学校の補助単価は国の措置基準割れだが、その理由は何ですか。このままで良しとするのか伺います。

知事 当初予算段階では145億円の財源不足が生じていますが、山武、香取、夷隅地域では減少、地域間格

校の全国の都道府県との状況を見ると高校や幼稚園とは異なり、半数近い団体が国の標準単価を下回っています。20年度予算においては、

医療体制 医師確保の充実図るべき

岡村 県民の健康と生命を守る医療体制の充実には医師確保が根幹です。

18年末の千葉県の医師数は9322人。16年の8818人に比べ504人増加していますが、山武、香取、夷隅地域では減少、地域間格

小中学校で国の標準単価を下回る額を2分の1まで縮小させました。厳しい状況で努力した結果でご理解をいただきたい。

差が拡大しています。また人口10万人当たりの医療施設従事医師数は153.5人で全国平均の206.3人に比べ52.5人の差があり全国順位も45位と低い状況です。県は現状と今後の対応をどのように考えて

農業振興「農業王国千葉」を目指す

岡村 日本の食糧自給率はカロリーベースで39%といわれ、輸入に頼り食料不足危機が危惧されています。

党では「国民の命を守る食料」の重要性を啓発、国家戦略として農業施策の必要があると考えています。

県は全国有数の農業県ですが、生産力が低下、平成17年には平成6年から堅持した農業産出額全国2位の座を明け渡す事態となりました。

中国ギョーザ事件もあり食の安全に対する関心も高



医療の充実へ党県連政調会長として、がんセンターを視察する岡村県議(中央)

に地域の自治体病院で勤務する予定。さらに千葉大と協力して将来地域医療を担う医師を現場で診療しながら養成する仕組みを立ち上げたい。

岡村 救急医療は喫緊の最重要課題です。(仮称)九十九里地域医療センター計画の合意解消を受け、今後、県はどのような対応を考えているのでしょうか。

知事 地元6市町の合意が解消されたことは極めて残念です。しかし、2月26日に東金市と大網白里町、九十九里町で合意、千葉大学と新しい医療センターへ向け県も支援します。

まっている中、農業振興と産出額2位奪回を目指し、どのような方針の下に取り組みうとしているのか。

副知事(自民) 国産農産物の志向が強まり、本県農業への期待も大きくなっています。

2月に3年間を見据えた「部門別緊急戦略」を策定し①新産地づくり②和牛や豚肉ブランド化③千産千消と環境保全型農業の推進などに取り組み、2位奪還を図り、農業王国千葉の実現を目指します。

私学助成 要望を踏まえ ぎりぎりの努力

岡村 私学助成について、今回も小学校・中学校の補助単価は国の措置基準割れだが、その理由は、また、このままで良いと思いますか。

知事 小学校と中学校については、半数近い団体が国の標準単価を下回っている状況にあります。

平成20年度当初予算案においては、皆様方の強い御要望も踏まえ、小学校と中学校については、国の標準単価を下回る額を2分の1にまで縮小させることとしました。

厳しい財政状況の中で、ぎりぎりまで努力した結果であり、御理解いただきました。

今後とも、私学の振興に最大限の努力をしていきます。

地域の声を政策に―党県連政調会長として

岡村やすあき県議

2月県議会 岡村泰明 議員 自民党(代表質問)

1. 財政問題について
2. 第四次千葉県国土利用計画の策定について
3. 私学助成について
4. 防災対策について
5. 福祉・医療問題について
 - ①健康県ちば宣言プロジェクト
 - ②医療体制の充実
 - ③乳幼児医療費助成事業
6. 原油価格高騰対策について
7. 農林業の振興について
 - ①農業の振興
 - ②森林・林業
8. 教育問題について
9. 知事の政治姿勢について
 - ①空港に関する諸問題に対する戦略
 - ②道路特定財源
 - ③マニフェスト
10. その他